



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ギガプライズ

コード番号 3830 URL <http://www.gigaprise.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 松本 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 管理部

(氏名) 木村 賢治

TEL 03-5459-8400

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,382	5.9	60	△13.0	55	△25.6	27	△41.3
23年3月期第3四半期	1,305	—	69	—	75	—	46	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 27百万円 (△41.3%) 23年3月期第3四半期 46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2,157.74	2,153.35
23年3月期第3四半期	3,653.29	3,640.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,105	603	54.6
23年3月期	1,252	592	47.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 603百万円 23年3月期 592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	1,000.00	1,000.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,063	12.1	155	44.9	153	35.7	90	36.2	7,114.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,101 株	23年3月期	14,097 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,371 株	23年3月期	1,313 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	12,763 株	23年3月期3Q	12,839 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信(連結)は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信(連結)の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(連結)(添付資料)5ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 四半期連結財務諸表等	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 企業結合等関係	11
(5) セグメント情報等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、金融危機後の各国の景気刺激策や減税等、政策面の効果が市場へ好影響を与え、特に中国・インドをはじめとした新興国を中心に大幅な需要の増大、回復がみられましたが、後半においては、ヨーロッパの諸国の一部における財政危機により、さらには、タイにおける洪水による自動車関連産業等の生産停止など、不安定な状況がみられました。わが国においては、3月に発生した東日本大震災の影響があらゆる産業に及んでおり、年度後半より徐々に回復の傾向がみられますが、世界経済の動向により予断を許さない状況にあります。

当社HomeIT事業と関連するマンション業界におきましては、復調しつつある国内経済を背景に完成在庫の調整が進んだ結果、新規着工数及び販売数においては回復基調となっております。

このような状況下で、HomeIT事業部門のマンション向けISP事業につきましては、新規分譲マンションにおける契約数を回復させることができ、さらに小規模賃貸マンション向けの営業活動を開始した結果、サービス戸数を増加させることができました。

一方、サービス内容といたしましては、回線品質の向上ならびに提供サービスのラインナップを充実し、今まで未開拓でありました既存物件の獲得に向け営業強化をしたことにより大幅に契約件数を増やすことができました。

また、システム開発事業につきましては、企業等の情報化投資は依然として抑制傾向にあり、顧客の値下げ要求も根強いなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

一方で、当社親会社であるフリービット(株)の保有するインターネットバックボーンなどのインフラストラクチャ、ならびにネットワーク技術力やその他事業基盤等を有効活用することにより、新規サービスの展開、コスト削減、品質の向上やサポート業務の効率化を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は売上高1,382百万円(前年同期比76百万円増)となりました。

① HomeIT事業

マンション向けISP事業につきましては、新築分譲マンション向けのサービス契約数は、国内分譲マンションの竣工数の回復とともに増加し、さらに小規模賃貸マンション向けのサービスを立ち上げ、マンションオーナー及び管理会社向けの営業活動を強化した結果、前事業年度と比べ契約数の大幅な増加を実現いたしました。一方、サービス提供中マンションにおいては、回線品質向上工事の実施ならびにサービスメニューの強化等、利用者サービスの充実を図ることにより解約数を減少することができ、当第3四半期連結累計期間におけるサービス戸数は30,341戸となっております。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は931百万円(前年同期比221百万円増)となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、企業等の情報化投資は依然として抑制傾向にあり、顧客の値下げ要求も根強いなど、引き続き厳しい経営環境が続いており、不動産賃貸管理ソフトウェアの販売を行う(株)ESPの子会社化によりソフトウェア販売は増加したものの、既存取引先の縮小、新規取引先獲得の遅れもあり、売上高が減少しました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は429百万円(前年同期比147百万円減)となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、人材派遣等を行った結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21百万円(前年同期比3百万円増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、法人税及び消費税の支払い等により前連結会計年度末に比べ146百万円の減少となり、1,105百万円となりました。

負債合計につきましては、借入金の返済により前連結会計年度末に比べ158百万円の減少となり502百万円となりました。

純資産合計につきましては、603百万円となりました。

この結果、自己資本比率は54.6%となっております。

② 資金の源泉

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、資産合計の46.4%を占める512百万円であり、当該残高に加え、未使用の借入枠を勘案すると、将来の予測可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績につきましては、平成23年5月16日付当社「平成23年決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	720,823	512,631
受取手形及び売掛金	290,676	269,372
商品及び製品	953	—
仕掛品	2,548	30,879
原材料及び貯蔵品	5,228	9,382
その他	27,781	35,125
貸倒引当金	△9,451	△9,475
流動資産合計	1,038,561	847,916
固定資産		
有形固定資産	97,133	141,306
無形固定資産		
のれん	71,024	76,573
その他	28,135	24,555
無形固定資産合計	99,160	101,128
投資その他の資産	17,992	15,583
固定資産合計	214,286	258,018
資産合計	1,252,848	1,105,934
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,762	59,078
1年内返済予定の長期借入金	174,936	149,886
未払法人税等	33,743	1,684
その他	59,548	72,085
流動負債合計	347,990	282,734
固定負債		
長期借入金	307,727	209,758
退職給付引当金	—	4,616
資産除去債務	5,051	5,123
固定負債合計	312,778	219,497
負債合計	660,769	502,232

株式会社ギガプライズ(3830)平成24年3月期第3四半期決算短信(連結)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	191,935	192,035
資本剰余金	112,130	112,230
利益剰余金	398,527	413,283
自己株式	△110,850	△114,196
株主資本合計	591,742	603,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336	349
その他の包括利益累計額合計	336	349
純資産合計	592,079	603,702
負債純資産合計	1,252,848	1,105,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,305,647	1,382,556
売上原価	980,306	1,021,244
売上総利益	325,341	361,312
販売費及び一般管理費	255,885	300,888
営業利益	69,456	60,423
営業外収益		
受取利息	381	247
受取家賃	1,170	—
保険解約返戻金	7,758	—
貸倒引当金戻入額	—	14
その他	105	54
営業外収益合計	9,415	317
営業外費用		
支払利息	3,245	3,311
訴訟関連費用	—	1,200
その他	455	314
営業外費用合計	3,700	4,825
経常利益	75,170	55,915
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,018	—
特別利益合計	2,018	—
特別損失		
固定資産売却損	73	—
事務所移転費用	—	1,525
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	—
特別損失合計	150	1,525
税金等調整前四半期純利益	77,038	54,390
法人税、住民税及び事業税	31,736	25,555
法人税等調整額	△1,604	1,295
法人税等合計	30,131	26,850
少数株主損益調整前四半期純利益	46,906	27,540
四半期純利益	46,906	27,540

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,906	27,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	12
その他の包括利益合計	26	12
四半期包括利益	46,933	27,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,933	27,553
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 企業結合等関係

当第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

(株式会社ユーネットワークスとの吸収分割)

1. 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

① 被取得企業の名称及び事業の内容

株式会社ユーネットワークスにおけるUserver.jp事業

② 企業結合を行った主な理由

ユーネットワークスの共用ホスティングサービス「Userver.jp」は、法人向けホームページ作成支援ツール付き共用ホスティングサービスであります。企業結合により、当社のネットワーク事業におけるサービスラインナップの拡充及び一般法人や業務店などの顧客獲得を図り、当該事業の一層の発展をめざすためであります。

③ 企業結合日

平成23年12月1日

④ 企業結合の法的形式

会社分割(吸収分割)

⑤ 結合後企業の名称

株式会社ギガプライズ

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成23年12月1日から平成23年12月31日まで

3. 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	23,500千円
取得原価		23,500千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

23,500千円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

5. 企業結合日に受入れた資産及び引受けた負債の額並びにその主な内訳

受け入れる資産及び引き受ける負債の額はありませぬ。

6. 企業結合が当連結会計年度の開始日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

売上高	22,320千円
営業利益	7,083千円

(概算額の算定方法)

企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報と、取得企業の連結損益計算書における売上高及び損益情報との差額を、影響の概算額としております。

なお、当該注記は監査証明を受けておりません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	HomeIT事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	709,773	577,472	1,287,246	18,401	1,305,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,725	—	1,725	—	1,725
計	711,498	577,472	1,288,971	18,401	1,307,373
セグメント利益	66,381	2,261	68,642	813	69,456

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	68,642
「その他」の区分の利益	813
四半期連結損益計算書の営業利益	69,456

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	HomeIT事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	931,410	429,666	1,361,077	21,479	1,382,556
計	931,410	429,666	1,361,077	21,479	1,382,556
セグメント利益又は損失 (△)	116,057	△58,818	57,239	3,183	60,423

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	57,239
「その他」の区分の利益	3,183
四半期連結損益計算書の営業利益	60,423

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「HomeIT事業」セグメントにおいて、平成23年12月1日に株式会社ユーネットワークスよりUserver.jp事業を吸収分割により取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において23,108千円でありません。